

丸中健児 学びの道しるべ

令和4年 10月31日
小松市立丸内中学校

1 全国学力・学習状況調査結果（本校と県・国との正答率の比較）

	石川県	全国
国語	やや下回る	平均並み
数学	やや下回る	上回る
理科	やや下回る	上回る

全国との比較においては、国語は平均並み、数学・理科については全国を上回る結果となりました。県との比較においては、国語・数学・理科ともに県をやや下回る結果となりました。本校の特徴として、どの教科においても、説明したり、表現したりする記述式の設問において課題が見られます。

2 設問ごとの良好なもの（◎）と課題となるもの（△）

国 語
◎小説において、文脈の中における語句の意味を理解すること、文章中の表現技法について理解することについては、概ねよくできている。 ◎意見文の下書きの一部の文章について、文末の表現を直す意図として適切なものを選択することができており、助動詞のはたらきについて理解している。 △自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話すことができるかどうかをみる設問については、無解答率が高い。スピーチのどの部分をどのように工夫して話すのか、その意図を書くことができていない。【記述式】 △自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる設問については、正答率も低く、無解答率も高い。条件に合うように記述することができていない。適切な情報を抜き出し、「」でくくるとともに、「例えば」に適切に続くように書くことができず、文章を適切に引用することや自分の考えを根拠をもとに書くことに課題が見られる。【記述式】
数 学
◎データの分析において、ヒストグラムの特徴をもとに分析する設問は、比較的よくできている。 ◎連立方程式を解く設問では、概ね解を求めることができている。 △関数に関する設問では、正答率も低く無解答率も高い。日常生活や社会の事象を数学的に捉え、表、式、グラフを用いて自分の考えを説明することに課題がみられる。【記述式】 △数の規則を説明する設問では、無解答率が高い。数の規則を見出し、その規則を文字を用いて説明することに課題がみられる。問題（偶数など）を文字式で表現し、それを変形して結論まで結び付ける力を身に付ける必要がある。
理 科
◎モデルを使った実験において、変える条件と変えない条件を制御した実験を計画できるかどうかをみる設問はよくできている。 ◎課題に正対した考察を行うためのグラフを作成する技能が身に付いているかどうかをみる設問は概ねできている。 △玄武岩の露頭で化石が観察できるかを問うことで、岩石に関する知識及び技能を活用できるかどうかをみる設問では正答率が低く、課題が見られる。火成岩と堆積岩に関する知識の定着を図る必要がある。 △考察の妥当性を高めるために、測定値の増やし方について、測定する範囲と刻み幅の視点から実験の計画を検討して改善できるかどうかをみる設問では正答率が低く、課題が見られる。この設問では無解答率も高いため、設問で問われている内容を読みとれていない生徒も多かったと思われる。【記述式】

学力とは、豊かな人間性、体力、健康とともに、子どもたちが生きるために大切な力です。なお、本学力調査は学力の特定の一部を推し量るものです。

3 質問紙調査の結果から良好なもの(◎)と課題となるもの(△)

◎今住んでいる地域の行事に参加している生徒の割合が高い。

◎携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている生徒の割合がやや多い。

◎家で自分で計画を立てて勉強をしている生徒の割合がやや多い。

◎読書が好きな生徒の割合が多い。

△学校で、コンピュータなどの ICT 機器を使用して、他の生徒と意見を交換したり、調べたりする頻度が少ない。

△授業における話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる生徒の割合が少ない。

△学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる生徒の割合が少ない。

4 全国学力・学習状況調査、質問紙調査の結果を踏まえた取組について

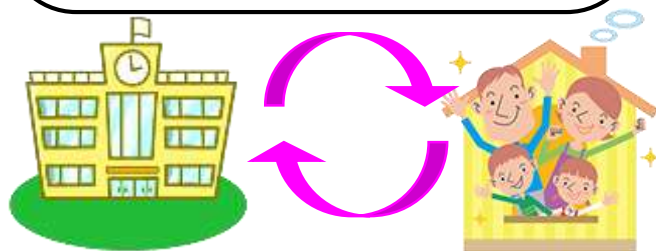
学校での取組

基礎基本の定着に向けて

- ・単元見通し学習を推進するとともに、学びの自覚を促す振り返り活動を確実に行う。
- ・家庭学習強化週間を設け、学習計画の指導や評価を行い、生徒に学習習慣を身に付けさせ、主体性を高める。
- ・朝学習並びに家庭学習におけるタブレット端末の活用を通じて、ドリル学習を行う。

活用力の向上に向けて

- ・自分の考えを持ち、生徒同士で学び合う学習活動を通して自分の考えを深め、広げる授業づくりを推進する。
- ・自分の考えを発表する場面では、資料や文章、話の組み立てを工夫して発表させ、思考力や表現力を高める。
- ・意見の交流や調べ学習の場面において、タブレット端末を積極的に活用した授業実践に努める。



生徒会活動との関連

- ・生徒会執行部やリーダー会を中心に、学習習慣の見直しや定期テストに向けて学習時間を確保する取組を計画的に行う。

ご家庭にお願いしたいこと

- ・起床・就寝時刻や食事等、規則正しい生活習慣になっているか、見直しましょう。
- ・ご家族で一緒に食事をとるなどして、親子の会話の時間をつくりましょう。その際、学校からの通信やホームページなどを積極的に活用していただけると幸いです。
- ・インターネットやゲームについては、ご家庭でルールを決めて、節度をもたせて、使用させるようにしましょう。

家庭と学校が連携して 健やかな子どもの育ちを見守りましょう。